

7 月度 <span style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px;">例会 個人</span> 山行報告書		報告者	神戸	参加 メンバー	神戸単独
		報告日	8/25		
山 域	頽城・立山	山行日	16年7月16日(土)		
山 名	雨飾山・鋏崎山		16年7月23日(土)		
山行目的	夏山合宿前のトレーニング(300名山探訪)		コースタイム(天候:天気図記号)		

配布先  
集会:12  
山行:1  
リーダー  
原紙:集  
会担当者

ルート図(地図を見て正確に)



雨飾山



鋏崎山 P

7/16(土)雨  
4:45 駐車場発(1160m)  
4:55 登山口(1150m)  
5:50 荒菅沢(1450m)  
6:50 笹平(1894m)  
7:10 雨飾山(1963m)休憩  
9:00 駐車場着

7/23(土)曇り  
5:30 ゴンドラ山頂駅(1200m)  
6:30 大品山  
8:35-9:00 鋏崎山(2090m)  
11:10 ゴンドラ山頂駅

〈山行報告〉【雨飾山】春山合宿以来の本格登山で体力測定の意味で昨年計画して天候不順で行きそびれたこの山を登った。以前、E氏が報告書に標高が誕生年と書いており、私も同年で気になっていた山である。小谷温泉からの登山道は6月でも荒菅沢に残雪が残るが今年は雪が少なくはるか上部にしか雪渓は見えなかった。その上はガスの中で有名な布団菱の岸壁は望めなかった。小雨の中黙々と登っていると11分の某という標識が約400m間隔で立てられておりペース把握に役立った。北峰と思われる笹平を通過し、笹藪の水滴でズボンばびしょ濡れになりつつも高山植物には癒された。7時過ぎにガスで視界50mの頂上に着いた。晴れていれば北アルプス北部の白馬岳などが望めたに違いない。下山を始めてしばらくすると、登山者が途切れることなくこの山の気の高さが窺えた。アプローチの林道が工事で行き止めになることが多いようなので事前のチェックは欠かせない。

【鋏崎山】夏山シーズンはゴンドラ稼働が5時かららしい。コースタイムの紹介に留める。標高差よりも距離が堪える山であった。もっとガスが晴れば立山、劔岳の眺望が楽しめたのだが。

フリースペース  
山の紹介・スケッチ・エピソード・その他自由に

確認  
(リーダー)  
神  
16/08/24  
戸  
作成  
(報告者)  
神  
16/08/24  
戸

〈リーダー所見〉空荷で登ったのでコースタイム的には平均以上で歩けるのは確認できた。しかし、合宿前の歩荷訓練にならず、本番の合宿では荷物と体の重さでペースが上がらなくなった。事前準備は体づくりも必須である。